

継続事業評価調書  
【交通安全施設事業】

主要地方道 福良江井岩屋線  
(南あわじ市湊～松帆古津路)  
交差点改良事業

県土整備部  
土木局 道路保全課

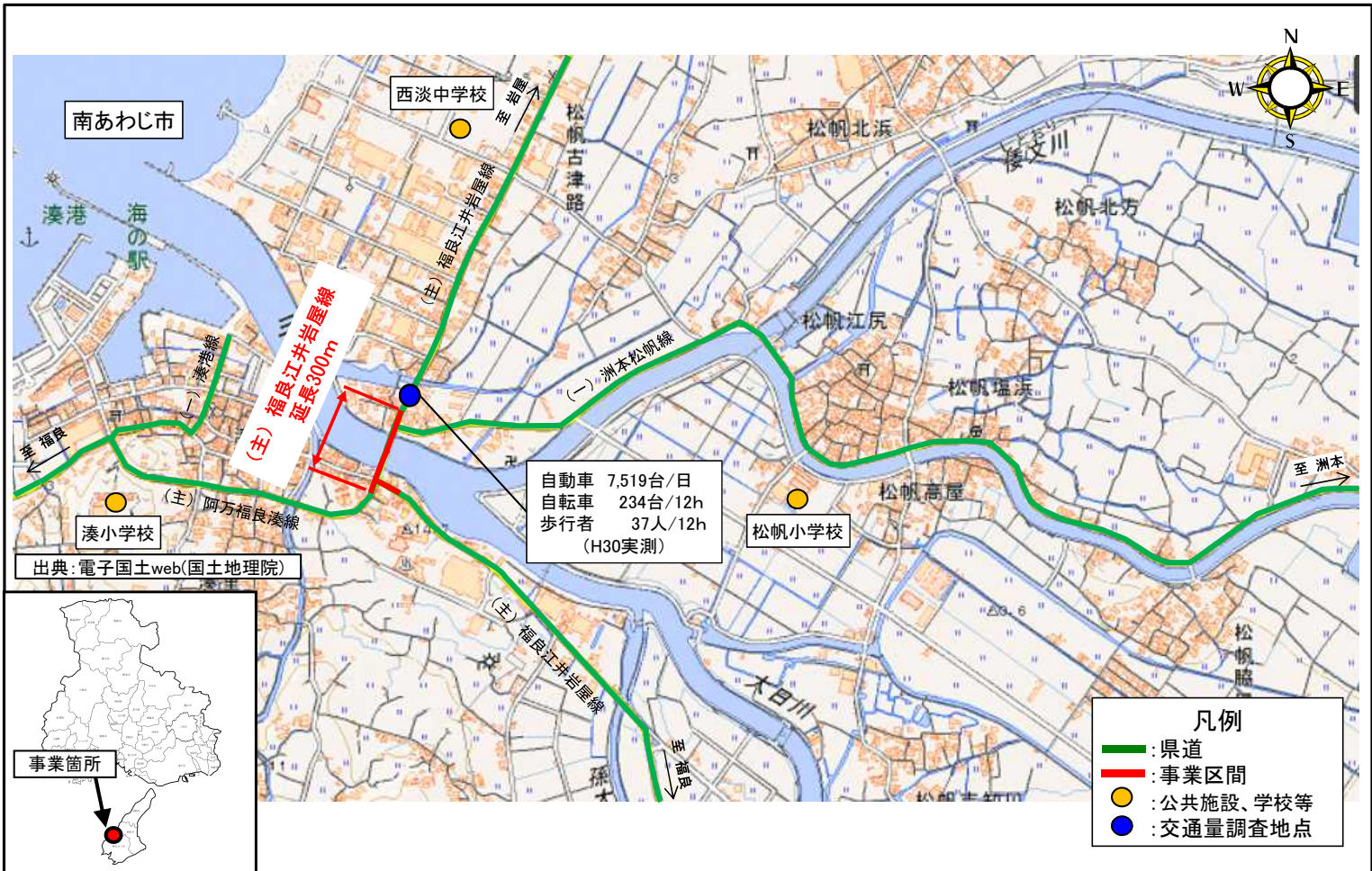
部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 山田 弘 (保全班長 多田 孔充)	内線	4389 (4399)
事業種目	交通安全 施設事業	新規評価年度	平成 20 年度	現計画	新規評価時点
事業名	交通安全施設等 整備事業 (主) 福良江井岩屋線	事業採択年度	平成 21 年度	総事業費	16 億円
		着工年度	平成 22 年度	内用地補償費	8 億円
事業区間	南あわじ市湊～松帆古津路	完成予定年度	平成 32 年度	進捗率 (内用補進捗率)	75% (85%)
				残事業費	4 億円
事業の目的			事業内容 ( ) 新規評価時点		
<p>○渋滞交差点の解消 湊交差点は、朝夕の時間帯を中心に交通渋滞が発生している。そのため、右折レーンを設置するなど交差点の改良を行い、渋滞の解消を図る。</p> <p>○歩行者・自転車利用者の安全確保 当事業箇所は、歩道や路肩の幅員が狭く、自転車が歩道を通行するなど、歩行者・自転車が輻輳し危険な状態にある。そのため、交差点改良に合わせて歩道及び路肩を拡幅し、適正な歩行・自転車通行空間を整備することで、歩行者・自転車利用者の安全を確保する。</p>			<p>【延長】 交差点改良 300m (240m) 【構造規格】 3 種 2 級 (3 種 2 級) 【計画幅員】 車道 9.5m [全幅 18.00m] (車道 9.5m [全幅 18.00 m]) 【現況交通量 [H30 実測]】 自動車：7,519 台/日 (10,597 台/日) 自転車： 234 台/12h (329 台/12h) 歩行者： 37 人/12h (58 人/12h) 【負担割合】 国：55%、県：45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<p>① 県の「新渋滞交差点解消プログラム(H26.1)」に湊交差点が位置付けられている。 ② 南あわじ市の「通学路交通安全プログラム(H27.7)」に本事業が位置付けられている。 ③ 事業区間において、過去 5 年 (H25～H29) で 5 件の事故が発生している。</p> <p>【新規評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ① 御原橋北詰交差点から南側の用地買収は完了し (H29.3)、現在は円滑な事業進捗が図られている。 ② 御原橋北詰交差点から事業区間を 60m 北側に延伸し、交差点内での本線シフトを避けて、より安全に現道への擦り付けを行う。 ③ 地質調査及び地元協議による仮設工法の変更、物件調査結果による移転補償費の精査、事業区間の延伸 (60m) に伴い、工事費が約 2.4 億円、用地補償費が約 3.6 億円増額し、総事業費が約 6 億円増額する。 ④ 用地買収の遅れに伴い、工事着手が遅れたことから、完成予定年度を平成 32 年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>① 御原橋北詰交差点南側の用地買収は完了済 (事業延伸区間のみ未買収) ② 平成 30 年度末に、御原橋拡幅部の下部工を完了予定 ③ 御原橋上部工並びに残区間の用地買収・物件補償を推進し、工事を順次実施</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見 (H21) 及び 対応方針	【審査会意見】 新規着手妥当 意見なし		【対応方針】 —		
(1) 必要性	<p>① 当該区間は、南あわじ市湊地区の中心に位置し、近隣には学校、拠点避難所に指定されている西淡公民館、大型商業施設及び住宅が立地している。 ② 通勤・通学の時間帯を中心に交通渋滞が発生している。 ③ 湊小学校、松帆小学校、西淡中学校の通学路及び通学経路であるが、歩道や路肩が狭く、自転車が歩道を走行するなど、歩行者・自転車が輻輳し危険である。</p>				
(2) 有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>① 右折レーン設置による交差点の改良により渋滞が解消される。 ② 歩行者と自転車の適正な通行空間の確保により、双方の安全が確保される。 ③ 御原橋北詰交差点より南側の用地買収は完了し、事業延伸区間についても地元の協力体制等の事業執行環境は整っており、円滑な事業進捗を図ることができる。</p>				
(3) 環境適合性	<p>① 歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p>				
(4) 優先性	<p>① 県の「新渋滞交差点解消プログラム」に基づき、早期整備を行い渋滞の解消を図る。 ② 中学生の自転車利用が多く、また南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に歩道整備が位置付けられているため、早期整備を行い自転車・歩行者の安全を確保する。 ③ 南あわじ市や地元住民からも早期整備を望む強い要望がある。</p>				
再評価 の結果	継続 理由	<p>事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、県の「新渋滞交差点解消プログラム」や南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置付けられており、また事業の執行環境も整っていることから、継続して事業を実施する必要がある。</p>			

事業進捗状況概要図（継続：再評価）



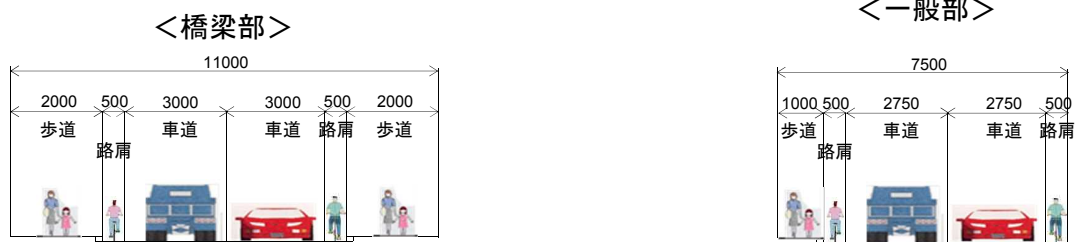


# 位置図



# 横断面

## 現況横断面



## 計画横断面 (新規評価時点)



## 計画横断面 (今回評価時点)

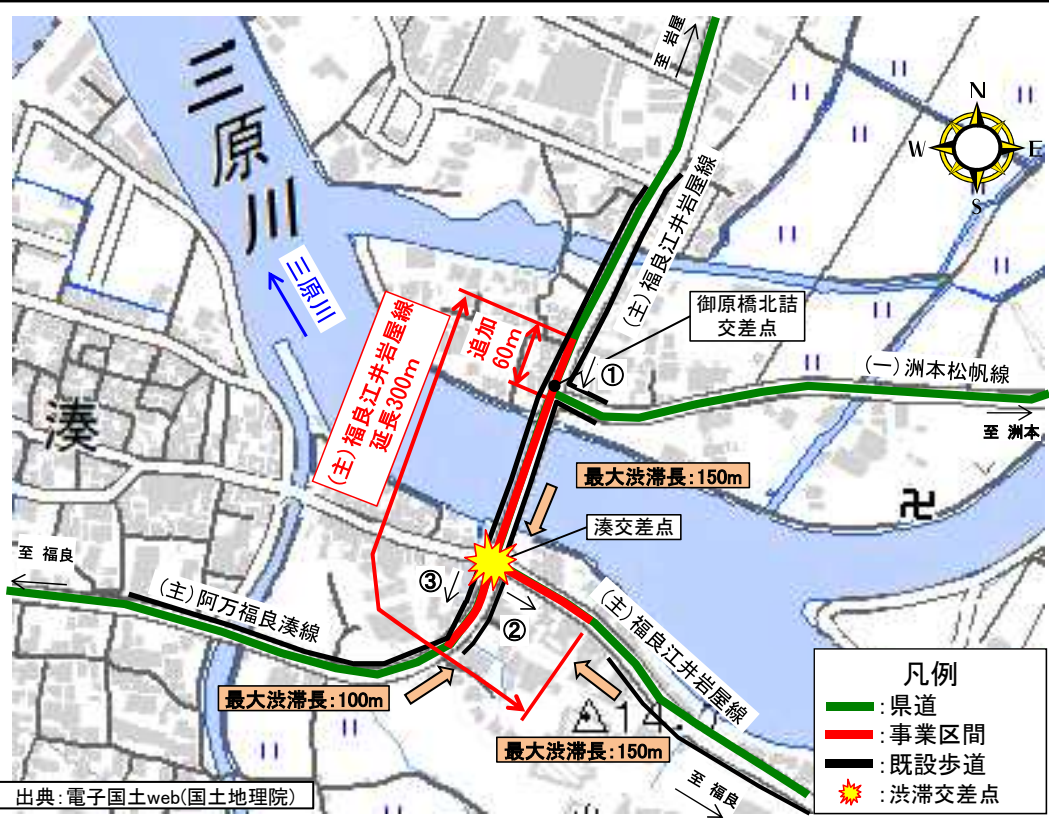


計画横断面は橋梁部・一般部で同じ



## 事業の必要性①

- ・ 港交差点は、通勤及び帰宅時間帯の朝夕に渋滞が発生しており、県の渋滞交差点解消プログラム及び国の主要渋滞箇所位置づけられているため、付加車線を設置し、渋滞の解消を図る必要がある。



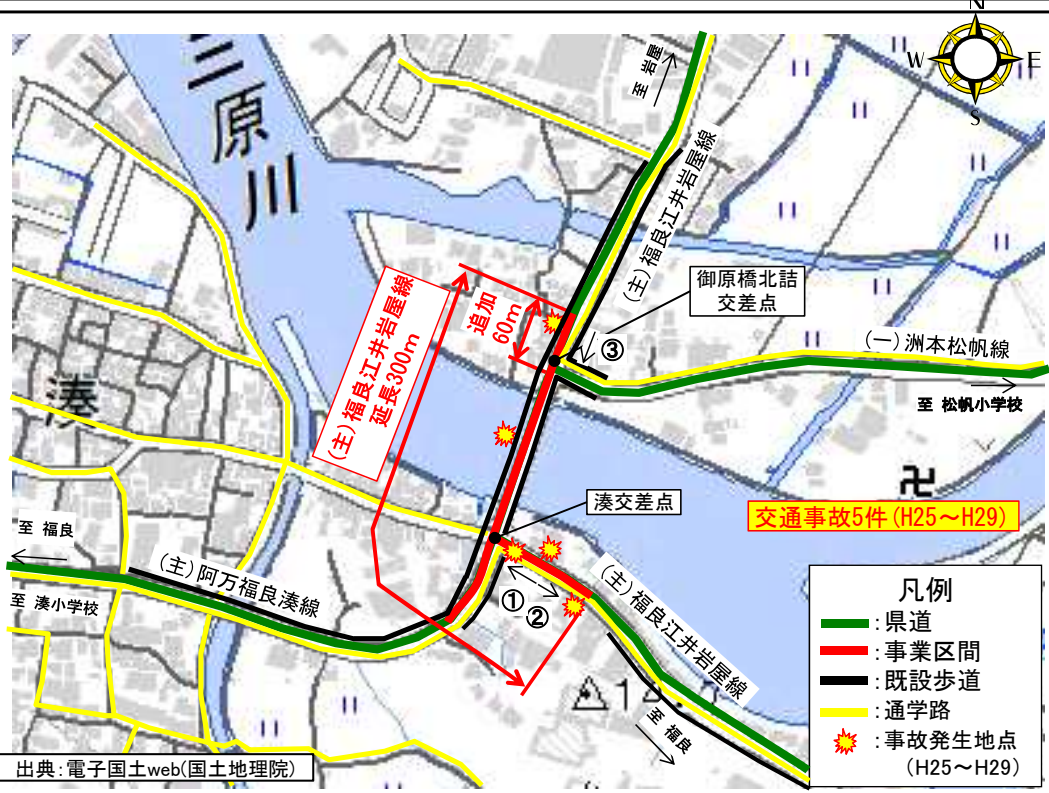
## 現況写真

### 渋滞の発生状況



## 事業の必要性②

- ・ 路肩が狭く通学生（西淡中学校）を含む自転車利用者（234台/12h）が危険にさらされている。
- ・ 歩道を自転車が行き通るなど、通学児童（湊小学校、松帆小学校）を含む歩行者（37人/12h）が危険にさらされている。
- ・ 通学路交通安全プログラムに位置づけられており、早期整備が必要。



## 現況写真

### 路肩が狭く通学自転車が危険



### 自転車が歩道を通行し危険





# 当初計画及び実施・計画工程

: 当初計画  
 : 実施・計画

	工程											
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
測試												
用地補償												
工事												

## 進捗状況

